

N O B O R D E R

すべてを超えて くすりの未来へ

2018年度 第3四半期決算 Conference Call

2019年2月6日
日本新薬株式会社



NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

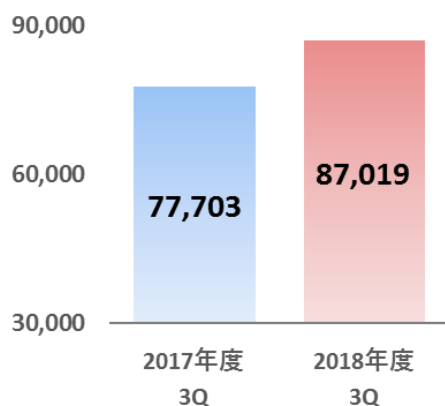
2018年度第3四半期概要



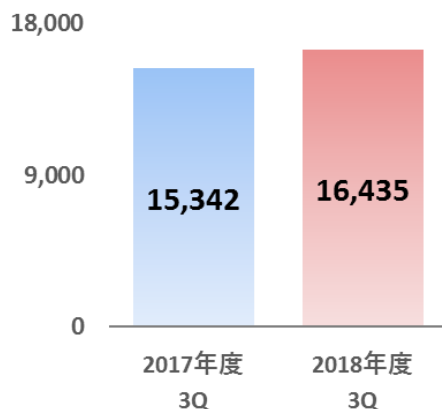
◆ 売上高	:	87,019百万円	(対前年同期比+12.0%)
◆ 営業利益	:	16,435百万円	(対前年同期比+7.1%)
◆ 経常利益	:	17,244百万円	(対前年同期比+7.9%)
◆ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	:	12,698百万円	(対前年同期比+8.9%)

(百万円)

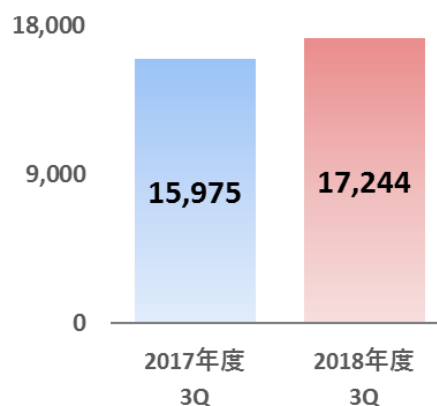
売上高



営業利益

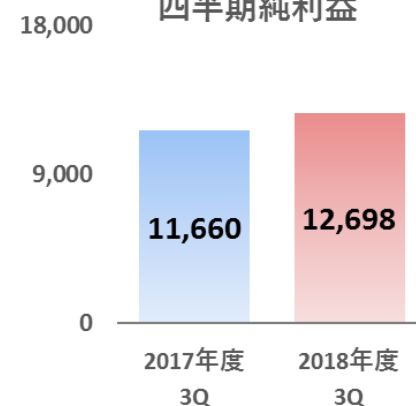


経常利益

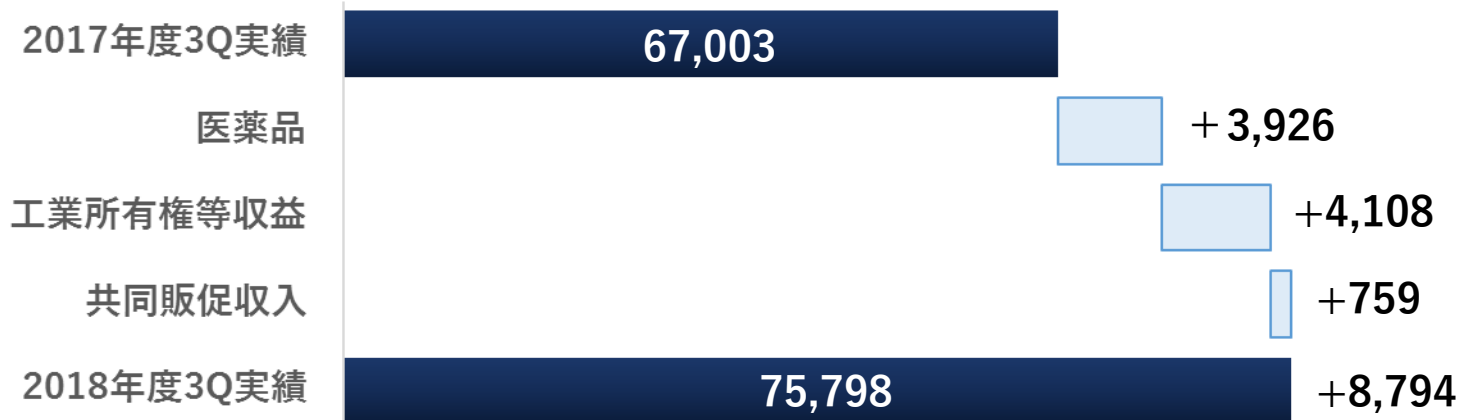


親会社株主に帰属する

四半期純利益



医薬品売上高の内訳



(百万円)	2017年度3Q		2018年度3Q		差異	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
医薬品	56,010	83.6%	59,936	79.1%	+3,926	+7.0%
工業所有権等収益	7,854	11.7%	11,963	15.8%	+4,108	+52.3%
共同販促収入	3,138	4.7%	3,898	5.1%	+759	+24.2%
医薬品合計	67,003	100.0%	75,798	100.0%	+8,794	+13.1%

新製品群の伸長や工業所有権等収益、共同販促収入の増加により
13.1%の増収となりました。



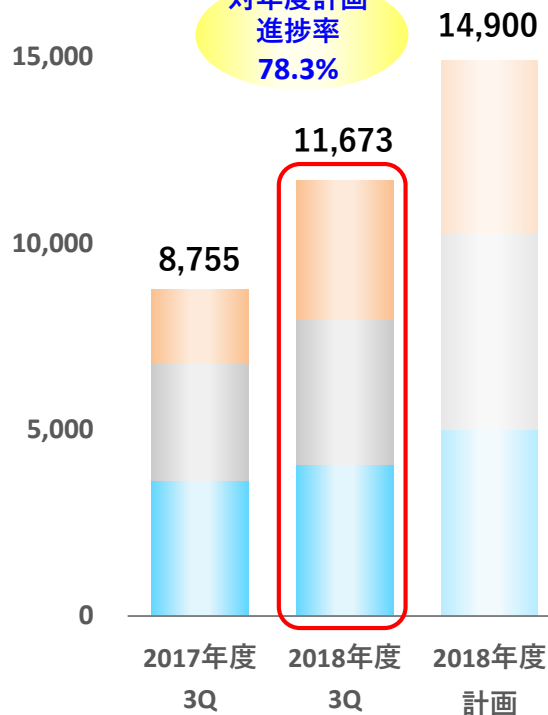
注力領域の売上進捗



(百万円)

PAH領域

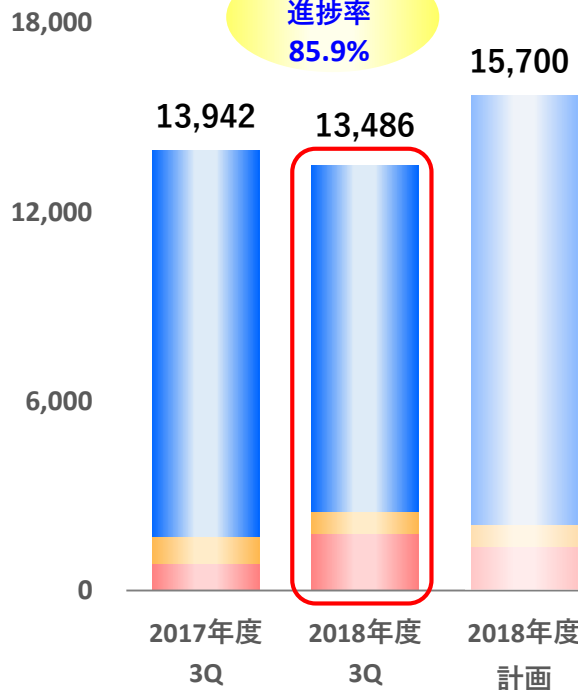
対年度計画
進捗率
78.3%



■ ウプトラビ
■ 共同販促収入 (オプスミット)
■ アドシルカ

血液がん領域

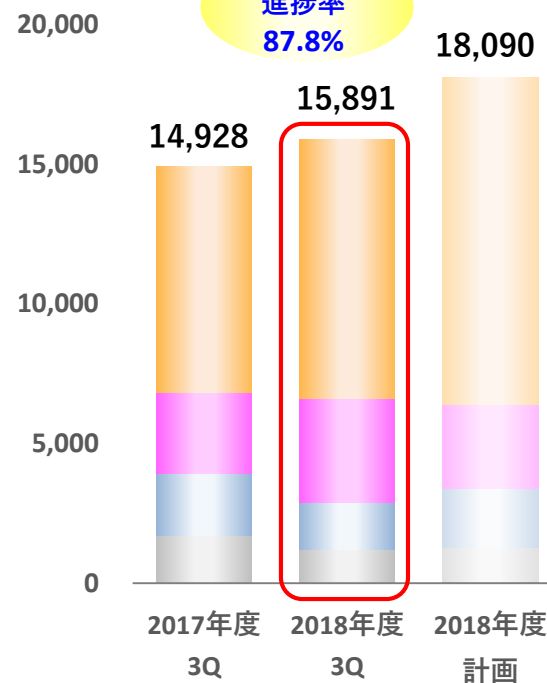
対年度計画
進捗率
85.9%



■ ビダーザ
■ キロサイド
■ その他

泌尿器科領域

対年度計画
進捗率
87.8%



■ ザルティア
■ シアリス
■ エビプロスタット
■ その他

注力領域の売上は年度計画に沿って順調に進捗しています。



機能食品売上の内訳

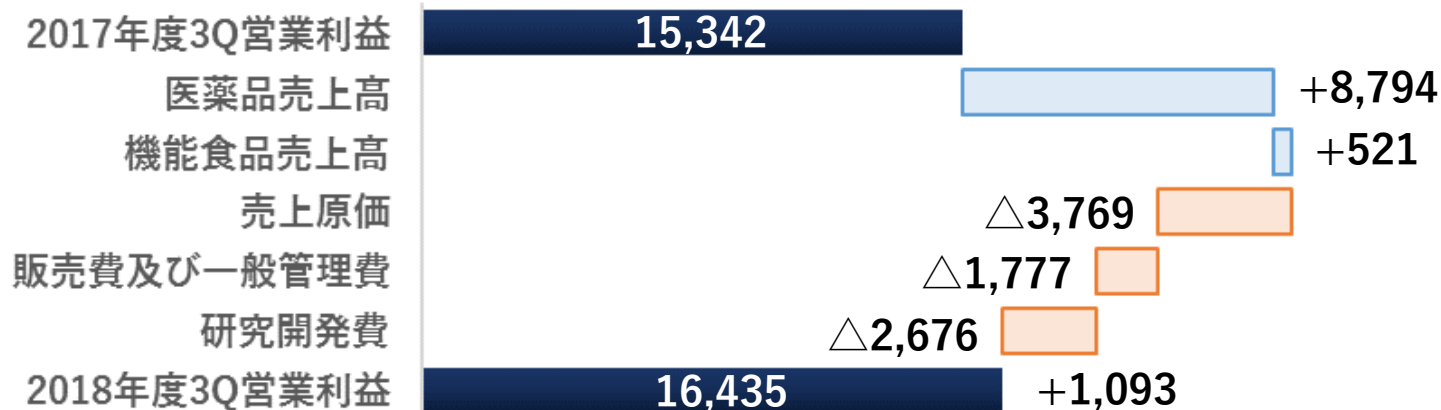


(百万円)	2017年度3Q		2018年度3Q		差異	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
プロテイン製剤	7,212	67.4%	7,439	66.3%	+227	+3.1%
品質安定保存剤	1,782	16.7%	1,814	16.2%	+31	+1.8%
健康食品素材	657	6.1%	855	7.6%	+197	+30.1%
そ の 他	1,047	9.8%	1,112	9.9%	+65	+6.2%
機能食品合計	10,699	100.0%	11,221	100.0%	+521	+4.9%

プロテイン製剤、健康食品素材の売上が増加し、4.9%の増収となりました。



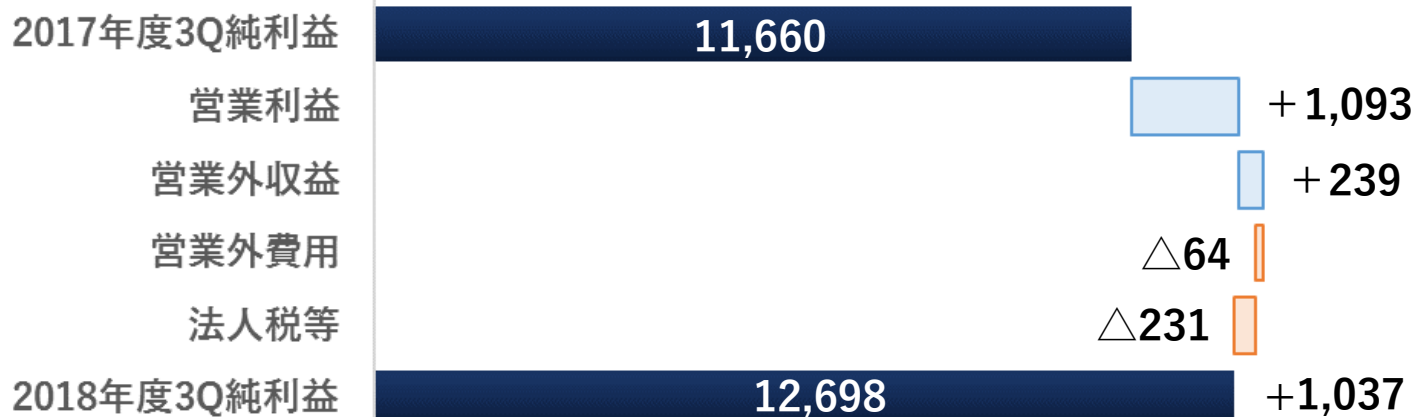
営業利益



(百万円)	2017年度3Q		2018年度3Q		差異	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	77,703	100.0%	87,019	100.0%	+9,316	+12.0%
（医薬品）	(67,003)	(86.2%)	(75,798)	(87.1%)	(+8,794)	(+13.1%)
（機能食品）	(10,699)	(13.8%)	(11,221)	(12.9%)	(+521)	(+4.9%)
営業費用	62,361	80.3%	70,584	81.1%	+8,223	+13.2%
売上原価	35,321	45.5%	39,091	44.9%	+3,769	+10.7%
販売費及び一般管理費	17,987	23.2%	19,765	22.7%	+1,777	+9.9%
研究開発費	9,051	11.6%	11,727	13.5%	+2,676	+29.6%
営業利益	15,342	19.7%	16,435	18.9%	+1,093	+7.1%



親会社株主に帰属する四半期純利益



(百万円)	2017年度3Q 実績	2018年度3Q 実績	差異	増減率
営業利益	15,342	16,435	+1,093	+7.1%
営業外収益	969	1,208	+239	+24.7%
営業外費用	335	399	+64	+19.1%
経常利益	15,975	17,244	+1,268	+7.9%
法人税等	4,314	4,546	+231	+5.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,660	12,698	+1,037	+8.9%

2018年度 連結業績予想



(百万円)	2017年度		2018年度			2018年度 (第五次中計)
	3Q 実績	年度 実績	3Q 実績	対年度 進捗率	年度 予想	
売上高	77,703	101,448	87,019	80.6%	108,000	110,000
（医薬品）	(67,003)	(87,416)	(75,798)	(81.0%)	(93,600)	-
（機能食品）	(10,699)	(14,031)	(11,221)	(77.9%)	(14,400)	-
営業利益	15,342	17,079	16,435	88.8%	18,500	18,000
経常利益	15,975	17,451	17,244	90.8%	19,000	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,660	12,953	12,698	90.7%	14,000	12,000

医薬品・機能食品売上高、各利益ともに
年度計画に沿って順調に進捗しています。

研究開発の進捗状況

新製品開発状況（国内）



開発品目	申請区分	適応症等	開発準備中	PI	PII	PIII	申請中
NS-73 (デフィブロトナリウム) (導入)	新成分	肝中心静脈閉塞症 (治療)					
	新効能	肝中心静脈閉塞症 (予防)					
NS-32 (導入)	新成分	鉄欠乏性貧血					
NS-304 (レキシパゲ) (自社)	新効能	慢性血栓塞栓性 肺高血圧症					
		閉塞性動脈硬化症					
		腰部脊柱管狭窄					
NS-580 (自社)	新成分	子宮内膜症					
NS-17 (アザシジン) (導入)	新効能	急性骨髄性白血病					
NS-065/NCNP-01 (viltolarsen) (自社)	新成分	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー					
NS-917 (導入)	新成分	再発・難治性 急性骨髄性白血病					
NS-87 (導入)	新成分	二次性 急性骨髄性白血病					

PIII
準備中

■ : 2018年度第2四半期決算時からの変更箇所

新製品開発状況（海外）



開発品目	申請区分	適応症等	開発準備中	PI	PII	PIII	申請中
プルリフロキサシン （自社）	新成分	合成抗菌剤					
NS-065/NCNP-01 （viltolarsen） （自社）	新成分	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー					
NS-018 （自社）	新成分	骨髄線維症					

NS-065/NCNP-01につきましては、
米国で段階的承認申請を開始しました。

参考資料

財政状況



(百万円)	2017年度 期末実績	2018年度 3Q実績	差異		2017年度 期末実績	2018年度 3Q実績	差異
資産の部	155,887	159,486	+3,599	負債の部	30,197	27,273	△ 2,924
(流動資産)	95,176	103,217	+8,041	(流動負債)	22,454	20,670	△ 1,783
(固定資産)	60,710	56,269	△ 4,441	(固定負債)	7,743	6,602	△ 1,141
				純資産の部	125,689	132,213	+6,524
合 計	155,887	159,486	+3,599	合 計	155,887	159,486	+3,599

= 資産の部 =

現金及び預金	+ 2,451
受取手形及び売掛金	+ 7,517
たな卸資産	△ 1,285
有形固定資産	△ 469
投資その他の資産	△ 3,915

= 負債・純資産の部 =

支払手形及び買掛金	△ 1,575
未払消費税等	+ 828
賞与引当金	△ 1,424
退職給付に係る負債	△ 1,144
利益剰余金	+ 8,993





－ 鉄欠乏性貧血治療剤 －

開発段階： PIII試験 準備中

開発形態： 自社開発

2016/12 ファーマコスモス社より導入

作用機序： 鉄剤

適 応 症： 鉄欠乏性貧血

剤 型： 注射剤

特 徴：

- ・ 高用量の鉄を安全に投与できる
- ・ 鉄と糖の安定な複合体であり、遊離鉄が少なく、副作用が出にくい
- ・ 低リン血症のリスクが低い



－ デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤 －

- 開発段階：** 米国 段階的承認申請（9月完了予定）
国内 P I / II 試験終了（早期の承認を目指して当局と協議中）
- 開発形態：** 自社開発
- 作用機序：** エクソン53スキッピング
- 適 応 症：** デュシェンヌ型筋ジストロフィー
- 剤 型：** 注射剤
- 特 徴：**
- ・ 欠損したジストロフィンの産生を回復させて疾患の進行抑制と病態改善を期待
 - ・ 高い安全性が示唆されるモルフォリノ核酸をベースに活性を最大化

将来見通しに関する注意事項

- ▶本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連 改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。